

白石川モロクボ沢 初級沢講習下見山行報告書

【山 域】 丹沢

【コース】 白石川モロクボ沢～越場ノ沢

【日 時】 平成30年4月21日（土曜日）

【天 候】 晴れ

【メンバー】 CL：大塚、上茂、小原、花島

【コースタイム】 用木沢P 8:15～モロクボ沢入渓 8:45～9:10～大滝 9:30～12:00～水晶沢出合 12:30～12:50
～越場ノ沢 13:15 ～ 稜線 14:10～14:40～善六山 15:10～16:05(越場ノ沢出合まで往復)
～塩地窪沢ノ頭 16:55～用木沢P 17:45

【山行報告】

昨年と比べると告知は10日、下見は2週間も早い。今年の沢リーダーは意気込みもやる気も違うね。煽られる格好で下見山行に連れて行かれ、記録まで書かされている昨年の沢リーダーです。

モロクボ沢は水と戯れる沢と紹介されることが多い沢で、いやし系の初級の沢という位置づけでしょうか。魅力は前半にぎゅ～っと凝縮されています。そのためというわけでもないでしょうが、枝沢に当たる水晶沢、滑棚沢なども遡行対象で、組み合わせて登下降を楽しむパーティーもいるようです。

今回は、本番で予定しているコース(本流を詰めて畦ヶ丸の手前に詰めあげ、一般道から西丹沢ビジターセンター〔昨年西丹沢自然教室から名称変更になりました〕に下山)で計画しましたが、不測の事態に何度か直面し、モロクボ沢開催見送りがという場面もありましたが、入念な下見の結果、無事にコースが決定しました。短いながらも楽しさ満載のコースとなりました。

渋滞に合う事もなく入山に1番近い用木沢駐車場へ8時頃に到着。運良く1台分の空きスペースがありました。

2018年4月21日土曜日

【自然情報】用木沢など 4月21日

朝7時の気温は11度でしたが、その後気温は上昇し、14時現在で26度になりました。

天気は快晴の登山日和です。

早朝から多くの登山者が訪れました。

午前中、用木沢を少し歩いてきました。



用木沢出合
駐車スペースは満車状態でした

その時の様子がビジターセンターの
ブログに載ってました。



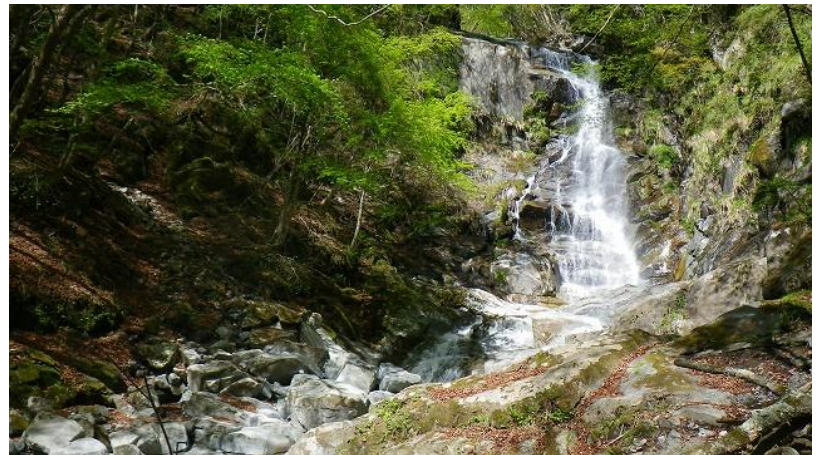
たまたま下山時に同じアングルから
撮ってました。帰りは閑散とした
ものでした。
ハイカー、キャンパーが多かったですね。

パッキングを済ませて出発。白石川に掛かる橋を渡り、キャンプ場跡地を通り、やまびこ橋を渡る。そこから連続する堰堤を左からまとめて巻いて入渓点へ着く。ここまで30分。

ここから大滝までは足慣らしで、水の冷たさ、岩の滑り具合、足裏の感覚、体のバランス、体調を確認しながらの遡行となる。

初級ということもあって遡行記録は見ずに、自分の感覚で判断する。「こりゃ、無理。どこから巻く？」で、結果大高巻きになってしまい、最後は15mの懸垂で降りることに。これは大人数ではヤバイ。滝上で記録に当たると大滝の左壁の階段状岩場を腕力で登るらしい。

何のために下見に来たのか？見ずには帰れないということで、懸垂2ピッチで大滝下に降りる。



(大滝全景)

(大高巻きからの大滝全景 迫力ありますね)

この写真が撮れただけでも大高巻きをした甲斐がありました

確かに小さく巻くルートがある。当日、ここにはロープ張りますから安心して登ってください。ただ、この先落ち口をトラバースする箇所が怖いといえれば怖いかな。

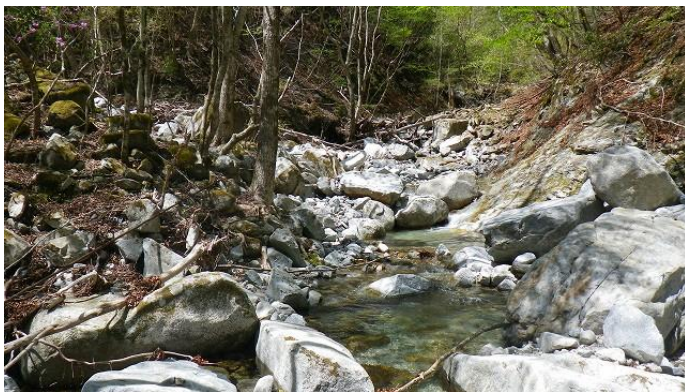


(大滝すぐ上のF2? 右も左も登れます [写真は別高巻きルート偵察のため下降中の写真です])

大滝の上から石積み堰堤までは釜をもつ滝の連続でモロクボ沢の核心部。泳いでもいいし、水際をへつってもいいし、思い思いに登っちゃていいんです。



当日この辺りは、わあ～！きゃ～！ いいながらみんな笑顔で登ったり滑ったり、ドボン、バシャンするんでしょうね。



(水晶沢出合)

本流は記録もあるし、時間切れのエスケープとして最短の越場ノ沢を下見することにする。始めこそ緩やかで尾根に取り付ける状態でしたが、直進していくとだんだんやばい状態に。

やがて水晶沢が右から流入してくる。こっちが本流にみえてしまう。

楽しかった水遊びが終わって落ち着いた頃、昼くらいに着いてお弁当タイムってところでしょう。

この先、流域は白石峠のやや南、水晶沢ノ頭からモロクボ沢ノ頭までの甲相国境尾根を経て、畦ヶ丸、善六山までの広範囲に渡ります。

どの沢もほぼ遡行対象なので、モロクボ沢が気に入ったら何度でも足を運んでください。



落ち葉のラッセルだぁ～ からの



稜線は見えたけど傾斜がそろそろヤバイ からの



このエスケープだめじゃん、使えないじゃん。どうする、どうする？

越場ノ沢出合から直接尾根に取り付いて善六山に登るバリエーションルートがあり、これが使えるかどうか判断するため、善六山から越場ノ沢出合まで往復する。

傾斜はあるが適当な間隔で樹木もあり危険な箇所もなくルートとして使えることが判明する。あとは、用木沢の駐車場まで下るだけだ。

で、結局ロープを張ってのモンキークライム



(越場ノ沢出合から善六山への登り)



善六山から南方向に視界が開ける 左の山は権現山



善六山から塩地窪沢ノ頭まではバリエーションハイキングっぽく、木の根の露出したところややセ尾根の通過など変化に富んだコースでしたが、塩地窪沢ノ頭から用木沢までの下りは様相が一変。最初は顕著な尾根だったのが下りるに従いだんだん怪しくなり、地図とスマホGPSで方向を確認しながら下降する。

樹木の間隔が微妙に遠くリズムカルな動きが取れない。次はあそこまで降りよう、足場はそことあそこ。という感じで神経を使う。

傾斜はキツイし、足元は張り出した根や引っ掛かりのない岩だったり砂地だったり、靴の中は砂だらけ。最後白石沢の横断は、渡渉点を探すも飛んでコケるのがイヤで、アプローチシューズも脱がずに渡渉する。講習では、このルートは使えそうにない。

それでも遅咲きの桜やツツジも見られたし、ヤマウツボという葉緑素をまったく持たない寄生植物も見られたので、こんな外した下山も終わればイイ思い出話しに変わるのでしょうね。





ヤマウツボ
(写真を撮り忘れたのでネットから拝借)

講習会当日は、善六山から善六ノタワに出て、沢沿いの一般道を本棚大滝、下棚大滝を見物しながらビジターセンターまで歩きましょう。



振り返ると地図読みに励んでる エライなあ

講習のコースは決まったが、現地到着時から問題になっていた駐車場の問題が最後に残った。何時に出る？ 前夜発？ どこにテント張る？ ってな話をしていた帰りの道すがら、登山者用Pの看板を発見する。即、キャンプ場に交渉。駐車位置も確認し下見山行これにて無事終了。疲れたなあ。

ちなみに講習の翌日5／20（日）は西丹沢の山開きだそうで、シロヤシオの開花時期と重なりハイカーで賑わいそうです。